

2024(令和6)年2月5日

門真市とのまちづくり事業連携に関する協定を締結します

京阪ホールディングス株式会社(本社：大阪市中央区、社長：石丸昌宏)は、門真市(市長：宮本一孝)と「まちづくり事業連携に関する協定」を締結します。この協定により、今後門真市において予定されている京阪沿線(門真市駅周辺、古川橋駅周辺、大和田駅周辺、庁舎エリア(中町)周辺、泉町・松葉町北地区周辺)の各まちづくり施策と、京阪グループが取り組む主軸戦略「沿線再耕」を双方連携させ、沿線及び周辺地域におけるエリア価値のさらなる向上をめざします。

京阪グループの主軸戦略「沿線再耕」では、駅を拠点として、地域の歴史・文化・産業などの特色を活かした都市開発や地域と連携したエリアマネジメントを推進し、これらを交通ネットワークで結ぶことを目指しており、これにより魅力あふれる美しい沿線を再生、沿線地域の価値向上及び居住・来訪者の拡大を図ります。

(協定締結式)

日時：2024年2月8日(木)午前10時20分～午前11時(予定) ※ご取材可能です
場所：門真市役所 本館3階 市長応接室
出席者：門真市 市長 宮本一孝
京阪ホールディングス株式会社 代表取締役社長 石丸昌宏
内容：協定締結、写真撮影

(門真市内で今後予定されているまちづくり施策)

- 門真市駅周辺：門真市駅前地区市街地再開発事業
- 古川橋駅周辺：(仮称)市立生涯学習複合施設・交流広場の整備、タワーマンションの建設など
- 大和田駅周辺：駅前広場の整備
- 庁舎エリア(中町)周辺：市役所庁舎の建替え、防災機能を有する広場の整備等
- 泉町・松葉町北地区周辺：旧門真市立北小学校跡地活用の検討

(協定による連携協力事項の内容)

- 門真市公民連携まちづくり基本方針に位置づけたリードプロジェクトの推進
- 駅周辺まちづくり施策の推進
- 公民連携まちづくりプレーヤーの発掘
- 安全安心で魅力ある地域づくりに関すること
- 公共交通について
- その他、双方において、相互の連携が必要と認められること

(参考：近年の連携内容)

2020・2021年度 門真市駅周辺エリアリノベーション社会実験実行委員会への参画

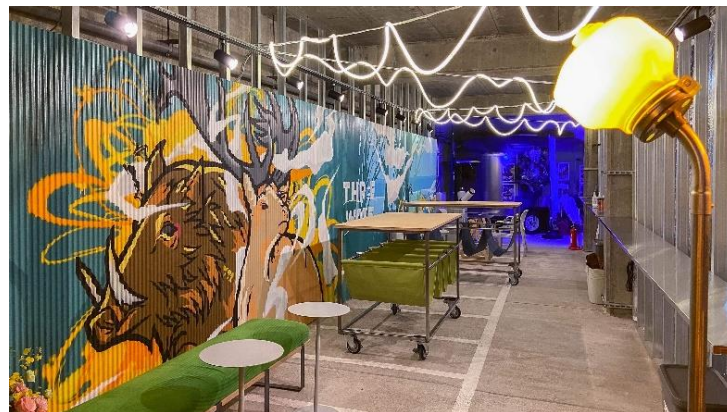
2022年度 門真市駅周辺エリアリノベーション推進会議への参画

2023年度 京阪門真市駅高架下に関する暫定利用の開始(THREE WAVE)

門真市駅周辺エリアプラットフォームへの参画



社会実験イベント「FAct Eat kadoma」
(2021年実施)



門真市駅高架下「THREE WAVE」
(2023年オープン)

以上

「まちづくり事業連携に関する協定」について



門真市と京阪の連携実績（一部）

- ・ 門真市駅周辺まちづくりにおける連携・協力
- ・ 門真市庁舎エリア整備審議会への参画
- ・ 古川橋駅周辺まちづくりにおける連携・協力
- ・ 門真市駅周辺エリアプラットフォームへの参画
- ・ 京阪高架下活用に関する協力



門真市庁舎エリア整備基本構想

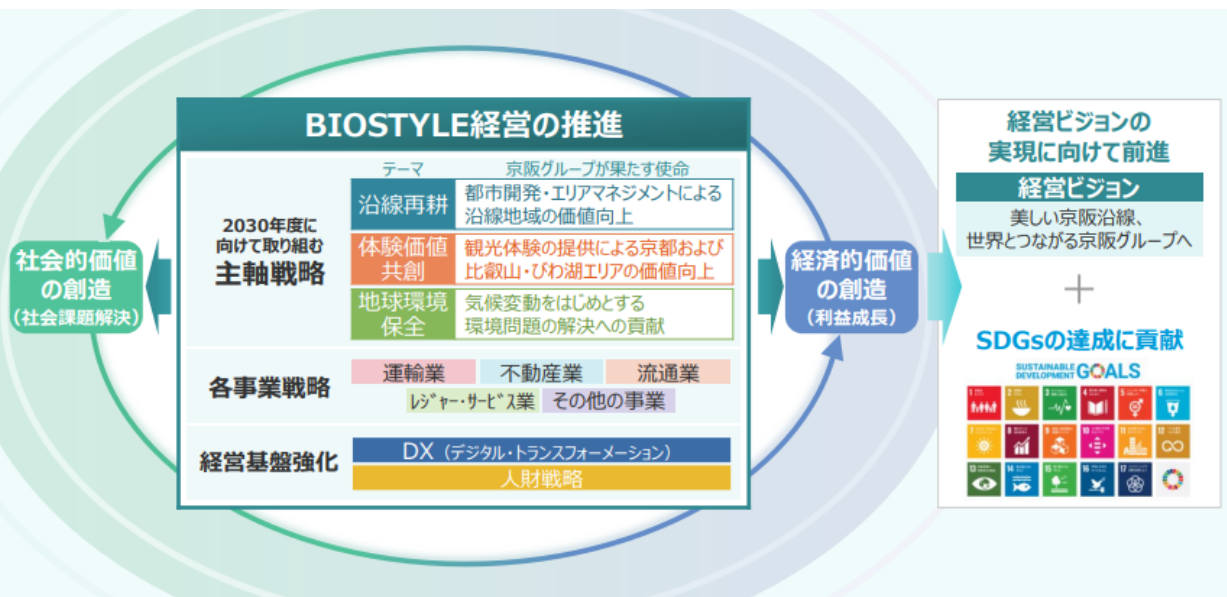


門真市駅前広場社会実験「FAct Eat kadoma」



古川橋駅周辺地区まちなかウォークブル推進基本構想

京阪グループの主軸戦略「沿線再耕」について



持続可能な循環型社会の実現に向けて、京阪グループの新たなブランドとして確立に取り組んできた

「BIOSTYLE（＝京阪版SDGs）」を経営・事業活動の軸に据え、社会的価値と経済的価値を両輪で創造する「BIOSTYLE経営」を推進

長期経営戦略 主軸戦略（沿線再耕）



基本方針

駅を拠点として、地域の歴史・文化・産業などの特色を活かした都市開発や地域と連携したエリアマネジメントを推進し、これらを交通ネットワークで結ぶことで、魅力あふれる美しい沿線を再生、沿線地域の価値向上および居住・来訪者の拡大を図る

重点施策① 大阪東西軸復権

- 京都への玄関口で大阪城に近接する京橋から再生医療拠点をめざす中之島を経て、IR計画のあるベイエリアに至る大阪東西軸に沿って、地域の特色を活かした都市開発を推進

重点施策② えきから始まるまちづくり

- 駅周辺に都市機能の集積を図るとともに、地域企業や地域社会と協働して歴史や文化をはじめ地域の特色を活かしたまちづくりを連続的に展開
- 駅を単なる乗降場から、駅とまちが一体となり、人々が集い新たなコミュニケーションが生まれる空間へと進化



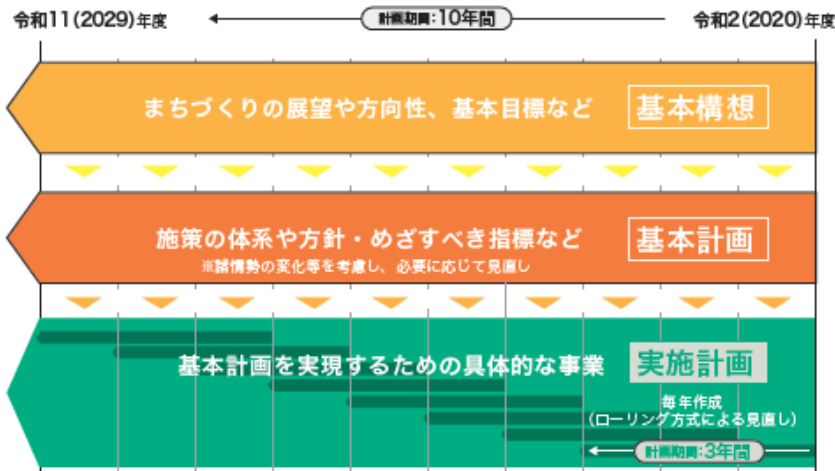
門真市駅前・古川橋駅北側再開発

門真市駅では、駅前商業施設「門真ブラザ」の再整備、また、古川橋駅では、北側市有地における門真市初のタワーマンションおよび商業棟の開発、地域に開放された広大な広場の設置等、再開発事業に参画



古川橋駅北側 完成イメージ

門真市が目指す「まちの将来像」 (門真市第6次総合計画)



本計画は、総合的かつ計画的な市政の運営を図るため、まちづくりや施策推進の方向性を示す市の最上位計画であり、「基本構想」、「基本計画」、「実施計画」の3階層で構成しています。



総合計画とは地方自治体の全ての計画の基本となり、地域づくりの最上位に位置づけられる計画です。
また、総合計画は「基本構想」、「基本計画」、「実施計画」から成り立っています。
社会情勢の変化に的確に対応し、10年、20年先を見据えた、誇りと愛着が持てるまちづくりに向け「門真市第6次総合計画」を策定します。

計画の概要 趣旨と構成と期間

まちづくりの方向性

子どもを真ん中に地域みんながつながる健康で幸せな地域共生の「まち」に

働きながら、子育てしながら暮らしやすい便利で快適な職住近接の「まち」に

そのための方向性・目標

まちづくりの基本目標

01



出産・子育てがしやすく、子どもがたくましく育つまちの実現

02



地域の中で活き活きと、健康で幸せに暮らせるまちの実現

03



安全・安心で快適な住まいと環境のあるまちの実現

04



誰もが活躍できる賑わいと活気あるまちの実現



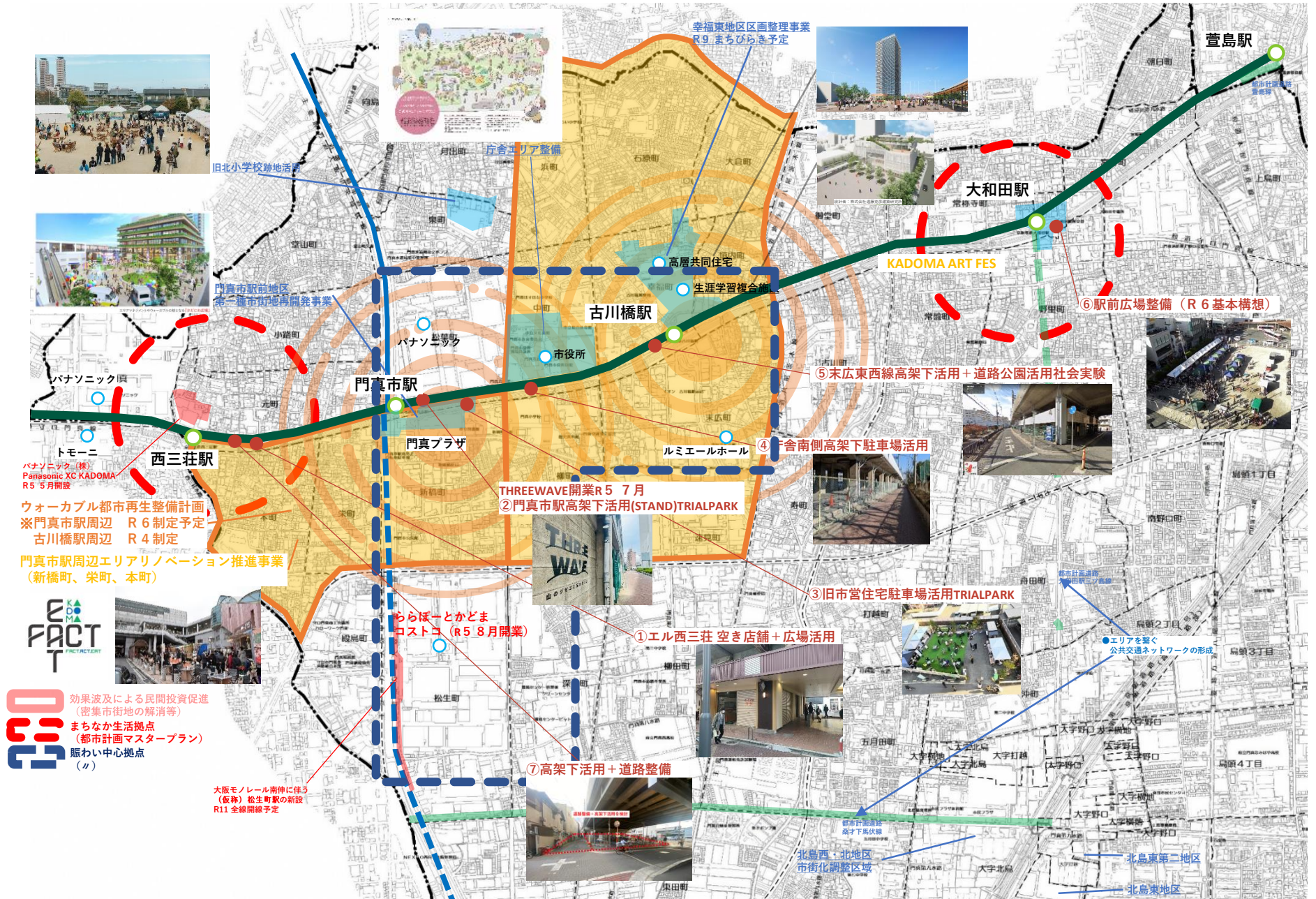
人情味あふれる!

笑いのたえないまち 門真

本市のめざす
「まちの将来像」

基本構想

門真市における京阪沿線でのまちづくり施策



京阪沿線でのまちづくり施策

■ 門真市駅周辺



門真市駅前地区第一種市街地再開発事業

■ 古川橋駅周辺



幸福町・垣内町地区整備事業



生涯学習複合施設 外観イメージ(株式会社遠藤克彦建築研究所提供)

■ 大和田駅周辺



大和田駅前広場整備基本構想検討

■ 庁舎エリア（中町）周辺



門真市庁舎エリア整備 広場利用社会実験

■ 泉町・松葉町北地区周辺



旧門真市立北小学校跡地活用検討

「まちづくり事業連携に関する協定」の目的、協定項目・内容

門真市と京阪グループが、これまでの協力関係を発展させ、

現在の社会課題の解決と、**持続可能な地域社会を実現する**ことをもって

沿線及び周辺地域におけるエリア価値のさらなる向上に繋げる

1. 門真市公民連携まちづくり基本方針に位置づけたリードプロジェクトの推進
2. 駅周辺まちづくり施策の推進
3. 公民連携まちづくりのプレイヤーの発掘
4. 安全安心で魅力ある地域づくりに関すること
5. 公共交通について
6. その他、双方において、相互の連携が必要と認められること